令和6年度 第2回安城市市民参加推進評価会議 議事要旨

日時	令和7年3月18日（火） 午前10時～午前11時30分	
場所	安城市役所本庁舎3階 第10会議室	
出席者	委員	寺田会長、小鹿副会長、居安委員、河方委員、土井委員、今永委員、稲垣委員、今委員（欠席：深津委員、菊地委員）
	事務局	横手市民生活部長、早水市民生活部次長兼市民協働課長、竹内市民協働課長補佐兼市民協働係長、市民協働係（杉浦、幸田、近藤、島）
次第	1 市民憲章唱和 2 会長挨拶 3 議題 （1）市民参加対象事項の評価について （2）市民参加を求めない事項について （3）対象事項以外の市民参加について 4 その他 （1）令和6年度第1回安城市市民参加推進評価会議の検討事項について （2）令和7年度第1回市民参加推進評価会議の日程について	

今回の会議の目的

- ・令和7年度における市民参加対象事項の取組予定の確認・評価

議事要旨

（司会）

本日は、お忙しいところ安城市市民参加推進評価会議にご出席いただきありがとうございます。ございます。

本日の会議におきましては、環境に配慮するとともに、働きやすい職場環境づくりの一環として、軽装（ノーネクタイ等）で出席しておりますので、ご理解をお願いします。

それでは、本日の委員の出席状況についてご報告させていただきます。ご欠席のご連絡をいただいています委員は、深津委員、菊地委員の2名で、ただいまの出席委員は安城市市民参加条例施行規則第11条第5項に規定します委員の半数以上に達しており、会議は成立しておりますことをご報告させていただきます。

それでは、ただいまから令和6年度第2回安城市市民参加推進評価会議を開催いたします。

1 市民憲章唱和

（司会）

次第1「市民憲章唱和」 市民憲章の唱和を行いますので、ご起立をお願いします。なお、市民憲章については、机上に印刷したものがございますのでご覧ください。

【市民憲章唱和】

ありがとうございました、ご着席ください。

2 会長挨拶

(司会)

続いて、次第2「会長挨拶」寺田会長よりご挨拶をお願いいたします。

(会長)

本日はお忙しいところ、令和6年度第2回市民参加推進評価会議にお集まりいただきありがとうございます。

皆様には、令和7年度における九つの対象事項の予定について、評価していただきありがとうございました。資料3の評価結果を見ますと、多少合計点にばらつきはあるものの、すべて○(適切である)という評価であり、良かったと思います。今日の会議で委員皆様の評価を踏まえて、市長への評価報告書を提出していきたいと思えます。

市民参加の実績は、市民の関心度によって変わってくるかもしれませんが、特に市民への影響が大きい事項については、多くの市民の方に参加していただけることを期待しています。担当課におかれましては、この会議で決定する評価内容を受け、次年度からの市民参加に活かしていただきたいと思えます。

限られた時間ではございますが、委員の皆様には慎重なご審議をいただきたいと思えます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

(司会)

ありがとうございました。

それでは、次第3「議題」に移らせていただきます。

委員の皆さまにおかれましては、ご発言をする場合、必ず挙手をしていただき、指名された後、マイクを持ってご発言いただくようお願いいたします。

ここからの進行は、寺田会長をお願いいたします。

3 議題

(会長)

それでは、議事を進めさせていただきます。議題(1)「市民参加対象事項の評価について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

【資料の確認】

【令和7年度市民参加対象事項の評価の流れ 説明】

【評価・意見にあたっての留意事項 説明】

【対象事項の評価の進め方 説明】

【対象事項1～9 説明】

(会長)

ただいまの事務局からの説明に対してのご意見、評価の変更を希望される方はご発言をお願いします。No. 7～No. 9は「要見直し」の評価もあるため、それらについてのご意見や評価の変更があればお願いします。

(委員)

No. 8を「要見直し」とし、予算額と意見を反映できる余地について意見を書いていましたが、予算額の回答があり、余地は「ある程度余地がある」に変更があったため、評価を「適切である」とさせていただきます。

(会長)

「概ね適切である」ではなくてよろしいですか。

(委員)

はい。「適切である」にします。元々、意見した内容が直っていれば「適切である」にする予定でした。

(会長)

No. 7について、地区公園は四つありますが、どの公園でしょうか。委員のお近くの公園であればご意見があるかもしれませんので、名称を教えてください。

(事務局)

比較的大きな公園で、柿田公園、秋葉公園、堀内公園、川島河川敷公園です。柿田公園は平成10年にできていて、公園の大きさは3.6ヘクタール、秋葉公園は昭和54年で4.0ヘクタール、堀内公園が平成4年で5.9ヘクタール、川島河川敷公園は昭和60年で4.0ヘクタール、大きな公園の再整備ということでございます。

(会長)

どれも古いですね、色も老朽化しています。堀内公園は大きな東屋がありましたが、撤去されていました。新しい基本構想ができれば、新しいものを建ててほしいです。

また、委員の方から要望があったように、この策定委員会では、公募市民の方がい

ないですが、よいのでしょうか。「要見直し」とされた委員の方は、この辺りが気になっているのではないかと考えましたが、委員の方から他にご意見はありませんか。

事務局補足：市民参加条例第9条では、「審議会等の委員として選任する者には、原則として公募による市民を含めるものとする」とありますが、高度に専門的な知識が要求されるような公募になじまない場合などは、例外としています。地区公園基本構想策定委員会では専門的な見地で意見を求めるため、市民は公募しませんが、担当課には、その他の手法で市民の方の意見聴取に努めるよう伝えます。

(委員)

策定委員会について、年度毎の実績が「無」とありますが、「公開」していただきたいと思い、「要見直し」としています。

(事務局)

資料4のNo.8の4番に今のご意見への回答をさせていただいておりますが、この構想は、他の計画とは異なり、PDCAサイクルを回すものではなく、地区公園の再整備に関する基本構想（コンセプト）であるため、公開をしない訳ではなく、そもそも年度毎の実績がないものになります。

(委員)

会議録は市公式ウェブサイトで公開していただけるということを見逃していたため、「適切である」に変更をお願いします。

(会長)

もう一つ、「要見直し」がついている、安城市文化振興計画の見直しについて、これは私が「要見直し」にしました。例えば、安城市のスポーツは非常に進んでいて、いろいろな全国大会を開いています。一方で、文化については、行政改革審議会でも見直しを提案していることですが、安城駅の案内所がみすぼらしく、いろいろなところでイベントやっているという情報が無いです。安城市の公式LINEも、イベントの前日ぐらいに配信されていることはありますが、SNSでも、イベントがいつどこでやるかという情報がほとんど無いです。アンフォーレだと予約のカレンダーが見られますが、やはりその辺は全体を見直すべきです。今回の回答を見ても、どうするかは書かれていなかったため、「要見直し」とさせていただきます。

(事務局)

周知方法については、今後も検討を進めてまいります。

(会長)

その他、「適切である」から「概ね適切である」への変更や、「概ね適切である」から「要見直し」への変更はないということによろしいでしょうか。

(委員)

最終評価は、何点から「概ね適切である」でしたか。

(会長)

15点未満です。資料3の評価内容を見ると、「要見直し」の評価がついているものが15点で二つあったため、評価を下げる方がいれば最終評価が変わる可能性があり、お聞きしました。

(副会長)

評価の変更ではありませんが、資料4の14ページの1番と2番の意見を出ささせていただきました。私達は委員2年目になり、自分なりの評価の基準が上がっている気がします。かなり多様な意見が出されており、私の質問に対しても回答いただいています。回答を見ると、各課の当初の計画から随分変わってきて、私達の意見を吸い上げてくれていると感じています。

1番の意見で書いたように、絶対評価で考えることが難しく、回答にある計画や条例の概要を読むだけでは、これが何の改訂か、どのような条例の制定か、なかなか把握できません。いろいろと調べても分かるものが少ないです。例えば、資料1のNo.1では、重視した点にヒアリングと書かれていますが、ヒアリングの対象を見て、安城市に団体があるのかと思います、いろいろ調べましたが、やはり分かりませんでした。愛知県だと、被害者支援ネットワークは名古屋にしかありません。どれだけ安城の現状が聞き出せるのか、とても疑問に感じました。そこで、先程の14ページの1番の意見に戻りますが、各課の市民参加の重視した点を見て評価するため、何の改訂か、どのような条例の制定で、どういった市民参加の余地があるかが、もう少し分かるような表記の仕方をお願いします。

(事務局)

ご意見いただいた内容について、資料1の様式1-2に対象事項の概要を記載していますが、これだけでは評価が難しいということかと思います。情報を多く載せることで、資料として、かえって分かりにくくならないようにしたいです。分か

りやすく表記するよう努めてまいります。

事務局補足：市民安全課の No. 1（仮称）安城市犯罪被害者等支援条例の策定におけるヒアリングの調査対象者には市民が少ないため、予定されているパブリックコメントの前に e モニターアンケートを実施するなど、より市民参加が充実するよう担当課と協議していきます。

（会長）

概要欄に多くの情報が書いてあれば分かるかもしれませんが、今もよくまとまっていると思います。この会議では、計画等の内容ではなく、各審議会できちんと審議されているかを評価しますが、他の審議会でのどのようなことをやっているかをもう少し詳しく書いていただけると、評価がしやすいと思います。そうすれば、質問も的確に出すことができると考えます。

（委員）

全体の中で評価をされていて思ったことが二つあります。一つ目、評価をする際に、仮に問題ないとか、良いと思った場合は、「適切である」とし、特に意見をしないことで問題ないのであれば、そうしたいと思っていました。無理にコメントを何か書かなければいけないというプレッシャーがありました。意見をしなくても問題ないということではよろしいでしょうか。

（事務局）

はい。問題ございません。

（委員）

二つ目、委員に求められてるのは、○△×を審議することなのか、それぞれの委員の立場で、それぞれの施策が良くなるようなメッセージを送ることなのか少し分かりにくいです。資料 2 の 3 ページの「書類の流れ」の予定のところについて、事務局が評価をとりまとめて、市民参加推進評価会議で評価となっていますが、その前に 1 回は関係各課に回っていると思います。その流れはかなり大事なことだと思います。この会議での評価をもって各課が予定を変えるのではなく、評価シートで委員から意見を聞いて訂正する、またはそのままにするということがあるかもしれません。それはそれで良くて、改善された予定で市民参加を実施し始めた方が、恐らく皆にとって良いと思います。そういった流れであれば、まずは調査シートを見て評価をつけて、意見に対しての各課の対応を見た上で、この会議で評価を変えるといった、2 段階で評価を変えていけると良いと思います。次回からでも良いですが、検討をお願い

します。実績は評価結果だけで良いと思いますが、予定のときは、議論するところや、それについて各課が対応するといったことがあっても良いと思いました。

(事務局)

会議の前に、いただいたご意見の内容を一度各課に伝えていきますので、そのような認識で問題ありません。会議終了後も同様に、○△×の最終評価以外のご意見の内容もフィードバックしていきます。

事務局補足：現状に合わせ、次回の予定の評価から、資料2「市民参加の評価方法について」にある書類の流れには、評価シートを事務局でとりまとめた後、関係各課へ確認し、各課が対応を記入する流れを追加します。

(会長)

意見が出尽くしたようですので、事務局はまとめをお願いします。

(事務局)

それでは、評価結果を集約させていただきます。スクリーンをご覧ください。

〈評価結果をスクリーンに表示〉

以下、合計点の変更

No. 7 合計点 15 点→17 点 (最終評価に変更なし)

No. 8 合計点 15 点→17 点 (最終評価に変更なし)

(会長)

この評価結果についてご意見等はございますか。

〈意見なし〉

それでは、スクリーンの結果を「令和6年度市民参加対象事項(予定)に対する委員評価結果」とし、本会議としての評価結果とすることとしてよろしいでしょうか。

また、資料4「令和6年度における市民参加対象事項の取組実績に対する評価結果報告書(案)」の2ページに評価結果を反映させ、3ページ以降の対象事項への意見部分についても本会議における意見内容として、市長へ報告することとしてよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

2ページの空白になっていた評価結果が全て○になるということではよろしいでしょうか。

(事務局)

はい。

(会長)

それでは、次に進みます。議題(2)「市民参加を求めない事項について」、事務局より報告願います。

(事務局)

【市民参加を求めない事項について 説明】

(会長)

条例や法律等で規定されているということですが、ただいまの説明について、何かご意見等はございますか。

〈意見なし〉

承認ということで、続いて、議題(3)「対象事項以外の市民参加について」事務局より説明願います。

(事務局)

【対象事項以外の市民参加について 説明】

(会長)

この会議と同じような審議会が58も予定されているということでした。

資料8のワークショップについて質問ですが、公募市民はどのように募集されますか。

(事務局)

資料8のNo.1及びNo.2は、公園の近隣町内会から推薦された方を集めて実施すると把握しています。それ以外は現時点では分かりかねますが、基本的には広く市民の方を募集すると思われまます。

(会長)

他にご意見はございませんか。

〈意見なし〉

議題については、皆さまのおかげをもちまして、以上で終了となります。

4 その他

(司会)

続きまして、次第4「その他」(1)令和6年度第1回安城市市民参加推進評価会議での検討事項について説明いたします。

(事務局)

【前回会議での検討事項 説明】

- ①アンケートの回収率の考え方について
- ②アンケートの費用対効果等の検証
- ③市民参加の適切な規模感について
- ④e モニター制度の活用
- ⑤LINE 等の SNS の活用
- ⑥周知方法の効果の検証
- ⑦市民が参加しやすい手法について

(司会)

ただいまの内容について、ご意見はございますか。

(会長)

私はe モニターに登録していますし、私の町内会はLINE でオープンチャットをつくり、町内会全体に情報共有をしています。今年度から町内会長連絡協議会でもLINE を活用する講習をやったり、町内に講師を派遣したりと、LINE を町内で広げていこうという動きをしています。市民参加のパブリックコメントやいろいろなイベントについてもSNS で周知しているため、ぜひ市でもSNS を活用していただきたいです。

(司会)

ありがとうございます。他にご意見ございませんか。

〈意見なし〉

続いて、次第4「その他」(2) 令和7年度第1回安城市市民参加推進評価会議の日程についてです。

(事務局)

【令和7年度第1回市民参加推進評価会議の日程 説明】

(司会)

ありがとうございました。次第4「その他」につきましては、以上となります。それでは最後に市民生活部次長兼市民協働課長の早水からお礼のことばを述べさせていただきます。

(課長)

貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。本日審議していただいた評

評価結果につきましては、市民参加推進評価会議の評価結果としまして、市長へ報告し、資料及び議事録と併せて公表させていただきますので、よろしくお願いたします。

それでは、以上をもちまして令和6年度第2回安城市市民参加推進評価会議を終了いたします。長時間にわたり、誠にありがとうございました。

会議の承認事項

- ・令和7年度における市民参加対象事項の取組予定の評価

令和7年度 市民参加対象事項（予定）に対する委員評価結果

合計点が15点以上⇒○（適切である）、15点未満6点以上⇒△（おおむね適切である）、6点未満は×（要見直し）

No.	対象事項	評価内容			合計点 (10名)	最終評価
		○(2点)	△(1点)	×(0点)		
1	(仮称)安城市犯罪被害者等支援条例の策定	6	4	0	16	○
2	第5次安城市子供読書活動推進計画の策定	7	3	0	17	○
3	安城市障害者福祉計画（令和9年度～令和14年度）の策定	6	4	0	16	○
4	あんジョイプラン11（第9次安城市高齢者福祉計画・第10期安城市介護保険事業計画）の策定	6	4	0	16	○
5	第2次安城市環境基本計画の改定	7	3	0	17	○
6	第2次安城市雨水マスタープランの見直し	7	3	0	17	○
7	地区公園再整備基本構想の策定	<u>7</u>	3	<u>0</u>	<u>17</u>	○
8	安城市水道事業経営戦略の見直し	<u>7</u>	3	<u>0</u>	<u>17</u>	○
9	安城市文化振興計画の見直し	7	2	1	16	○

今後の対応・検討事項

- ・市民参加推進調査シートの明解化
- ・市民参加の評価方法における書類の流れの修正